

# 工事説明書

型 式 名

FD2811J3

FD2811J2

FD2011J2

## 浴室暖房乾燥機

品名コード：3室・24時間換気機能付き

FD2811J3・FD2811J3W・FD2811J3(UR)

2室・24時間換気機能付き

FD2811J2・FD2011J2

ガス会社コード：BBD-3303ACSK-J3・BBD-3303BCSK-J3・BBD-3307KCSK-J3

BBD-3303ACSK-J2・BBD-2404ACSK-J2

工事される方へのお願い...施工は必ずこの工事説明書に従って正しく施工してください。

(この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。)

設置工事が終わりましたら、(設置工事後の点検確認)のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。

この機器は一般家庭用です。業務用としては設置しないでください。

当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に不具合(瑕疵)が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付(または刻印など)がされている部品については、財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。

BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、財団法人ベターリビングのホームページ(<http://www.blhp.org/>)をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は、財団法人ベターリビング(TEL 03-5211-0559)でもお受け致します。

## 設置工事後の点検確認

### ●チェックリスト

点検項目	点 検 内 容	参照ページ	チェック
電源(電圧・周波数)	銘板に記載する電源電圧(100V)・周波数(50Hzまたは60Hz)に適していますか。	2	
設 置 条 件	機器本体の取付位置は適切ですか。	3・4・8・10・11・13	
	ユニットバスとの組合せ仕様は適切ですか。	2	
保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	2・3・10	
安 定 設 置	機器本体の自重に対し十分な取付強度を確保していますか。	2・4・8	
電 気 工 事	ブレーカーまたは機器本体電路部に漏電ブレーカーが設置されていますか。	14	
	アース線の接続は確実ですか。	14・15	
	電源工事、電気結線工事は指定された工事がされていますか。	14～17	
換気ダクト・温水配管 接続部	物干しバーの位置・強度は適切ですか。	6	
	換気ダクト接続口の排気漏れはありませんか。	7	
	温水配管接続部の水漏れはありませんか。	14	
	浴室天井と機器との接続部のすき間はありますか。	6・9・12・13	

## 試 運 転

1. 工事説明書の試運転手順に基づいて試運転を行ってください。
2. 試運転終了後は、屋内ブレーカーを切っておいてください。

## お客様への取扱説明

1. 取扱説明書によって、機器の取り扱いを説明してください。
2. 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡ししてください。



59189330

ケB93-03


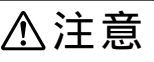
# 重 要

## ■安全に正しく使用していただくために

ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に設置工事していただき、設置工事業者および機器を使用されるお客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。





必ずお守りください。

誤った工事により生じる危害・損害の程度をつぎのように区分しています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
<b>お願い</b>	使用者が安全に快適に使用していただくために理解していただきたい内容です。

ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を下線文字で表記しています。(例：火災のおそれがあります。)

注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

 一般的な「警告」・「注意」	 一般的な禁止
 必ず行う	 アース必要

## ■設置工事される方へ

### 警告

- この『工事説明書』および電気設備技術基準、建築基準法、当該地区の市・町・村の条例、消防法に従い設置工事を行う。
- 設置工事完了後は表紙の **設置工事後の点検確認** のチェックリストに基づいて、必ず点検する。  
火災や漏電など、思いがけない事故の原因になります。
- 設置工事完了後は別添の『取扱説明書』に従い、使用上の注意事項、正しい使用方法をお客様に説明する。  
誤った使用をされた場合、重大な事故の原因になります。

### 注意

- 機器のコード類などを機器固定から解くときや、引き出す際などは、カッターなど鋭利なものを使用しない。  
コードなどに傷がつき、思いがけない事故の原因になります。

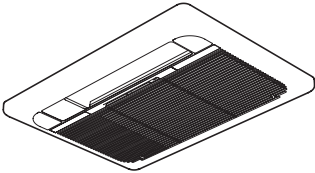
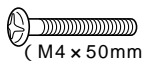

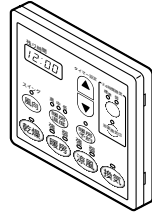

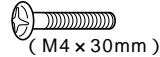
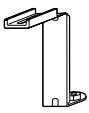





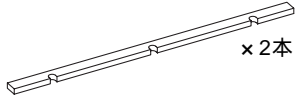
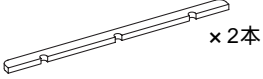

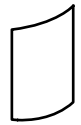
試運転完了後、保証書に必要事項を記入のうえ、『取扱説明書』をお客様へ渡していただき、保管のお願いをしてください。

開こん ..... 1  
 設置前の注意 ..... 2  
 機器の設置 ..... 3 ~ 13  
     1. ユニットバスへの設置 ..... 3 ~ 9  
         設置図 ..... 3  
         機器本体、先付け方式の場合 ..... 4 ~ 7  
         機器本体、後付け方式の場合 ..... 8 ~ 9  
     2. 在来浴室への設置 ..... 10 ~ 13  
         設置図 ..... 10  
         機器本体、先付け方式の場合 ..... 11 ~ 12  
         機器本体、後付け方式の場合 ..... 13  
 温水配管の接続 ..... 14  
 電気工事と結線 ..... 14 ~ 17  
 リモコンの取り付け ..... 18 ~ 19  
 グリル板の取り付け ..... 20  
 試運転 ..... 20 ~ 21  
 外形寸法図 ..... 裏表紙

# 開こん

## ■付属部品の確認

次の部品が付属部品として同こんされています。不足のないことを確認してください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>●グリル板</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グリル板取付ネジ ...4本 (M4 x 50mm)</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グリル板抜け止めワッシャー...2個</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコン</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンコード 5m</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンスイッチボックス取付用ネジ...4本 (M4 x 30mm)</li> </ul> 
<ul style="list-style-type: none"> <li>●自在金具(ナット付)...4個</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●自在金具スペーサー...4個</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●自在金具取付ボルト...4本</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防振ゴム(小)...4個</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●防振ゴム(大)...4個</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●座金...4個</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シールパッキン...4本</li> </ul>  <p>×2本</p>  <p>×2本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取扱説明書(保証書付)</li> <li>●工事説明書</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●サービス網一覧</li> </ul> 	

## お願い

●この機器専用の付属品あるいは指定の別売部品以外は使用しないでください。

# 設置前の注意

## ■設置する機器の確認

設置する機器が、ご使用になる目的・用途に適合していることを確認してください。

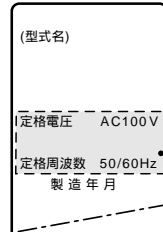
### ⚠注意

- 銘板(機器内部に貼付)に表示してある電源(電圧・周波数)に適合していることを確認する。  
火災・漏電のおそれや、機器が故障する原因にもなります。



確認

### 銘板



電源  
(電圧・周波数)

## ■設置場所の注意

FD2811J3・FD2811J3W・FD2811J3(UR)・FD2811J2の場合、1616サイズ(1.0坪)くらいのユニットバスもしくは0.75坪以下の在来浴室に設置してください。

FD2011J2の場合、1216サイズ(0.75坪)くらいのユニットバスに設置してください。

浴室以外(脱衣室、クローゼットなど)には絶対に取り付けしないでください。

浴室の天井高さは2200mm以下としてください。

浴室内の天井は、機器取付面がフラットで、フラット面にグリル板が設置できるタイプを選んでください。

浴室天井の厚みは25mmまでとしてください。また先付け設置時、天井厚みが15mm以上の場合、70mmのグリル板取付ネジ(現場調達)を使用してください。

天井上面の中央部に補強用リブがあるユニットバスを使用する場合、設置の障害にならないことを確認してください。(本体先付け時：リブ高さ60mm以下、本体後付け時：リブ高さ+天井厚みが60mm以下)

浴室のドアは給気口が設けてあるものを選んでください。(給気口がないと換気できません。)

浴室に窓を設ける場合は1㎡以下としてください。

自然給気口(24時間換気用)または給気ファンは、24時間換気をバランスよく行うために外気に面している各部屋に設けてください。

住宅全体の換気を確保するために、トイレ・各部屋の扉には100~150cm<sup>2</sup>以上のアンダーカットを確保してください。

脱衣室や廊下などの換気が集中する場所の扉には、150~200cm<sup>2</sup>以上のアンダーカットを確保してください。

参考 ユニットバス床面積による分類

	各ユニットバスのサイズ
~1216 (1.92㎡) サイズ	0816,0916,1014,1115,1116,1117,1216など
1216~1616 (2.56㎡) サイズ	1218,1221,1317,1416,1418,1616など
1616~1620 (3.2㎡) サイズ	1618,1620など
1620~1625 (4.0㎡) サイズ	1621,1625など

### ⚠注意

- 接着タイプのタイル貼りユニットバスの場合は、タイルの剥離強度について事前にユニットバスメーカーと相談する。  
温湿度の変化により、タイルがはがれ落ちることがあります。

- ユニットバス天井面から上階スラブ面までの距離は、250mm以上確保できていることを確認する。

機器の取り付けや、点検・修理に支障をきたします。

- 機器本体の重量(約12kg)および各種配管に十分耐える強度であるかを確認し、強度が弱い場合は補強を行う。

機器の落下や、浴室破損のおそれがあります。

- CF式、FE式の給湯器またはふる釜が、浴室に隣接する部屋に設置されている場合は、本体を取り付けることができません。

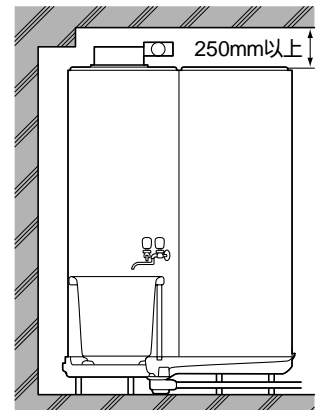
排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。

- 温泉水を引き込んだ浴室には設置しないでください。

温泉水や温泉成分を含んだ入浴剤を使用した湯水が本体に付着しますと、変色、腐食などにより、性能および耐久性を著しく損なう原因となります。



確認



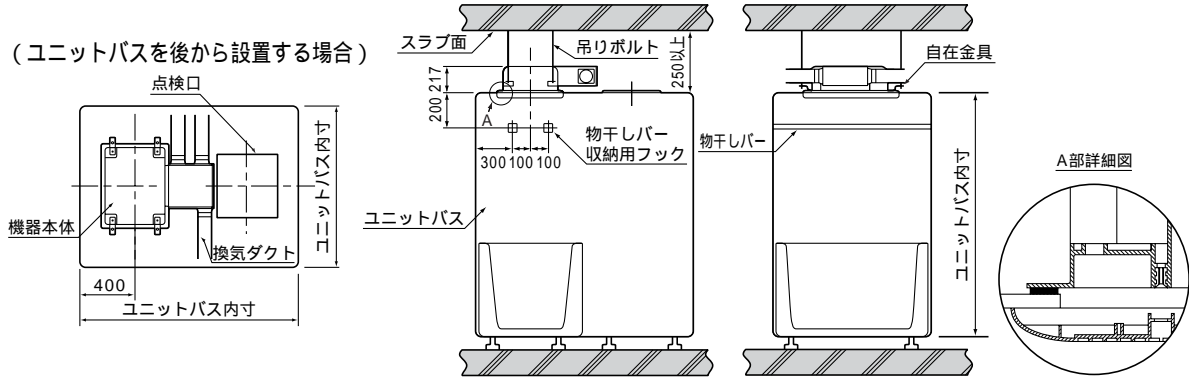
# 機器の設置

## 1. ユニットバスへの設置

### ■設置図

#### 1. 機器本体の先付け方式

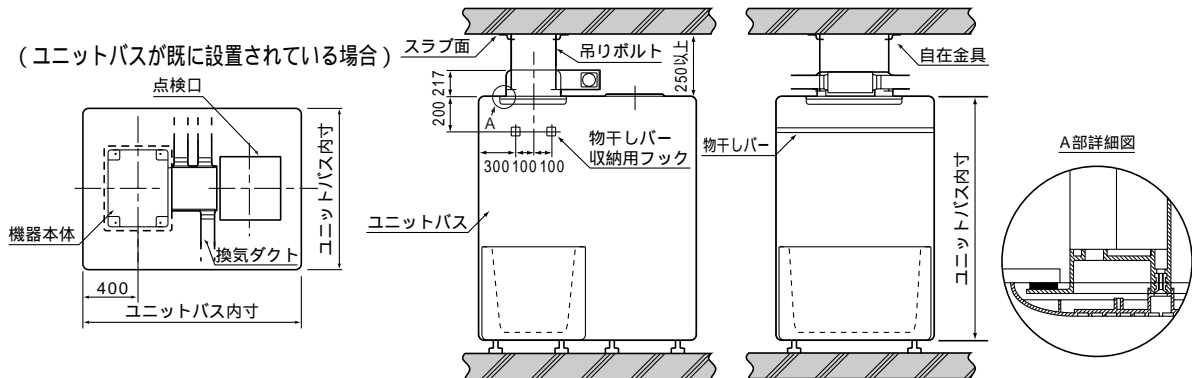
[ 単位 : mm ]



換気ダクトは点検口の開口部を避けて配管してください。

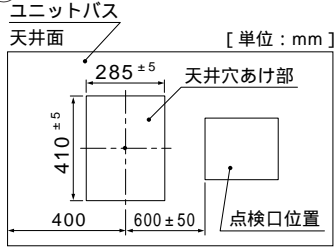
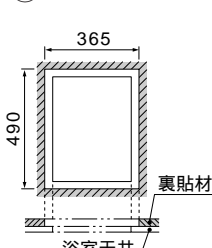
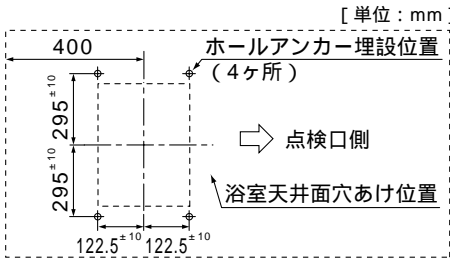
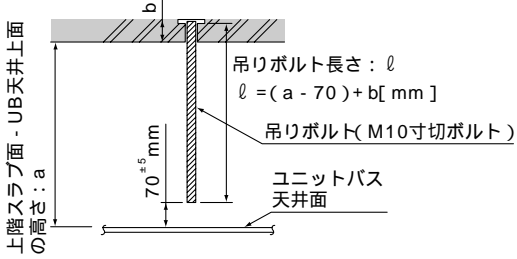
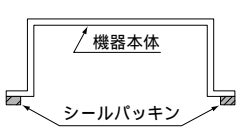
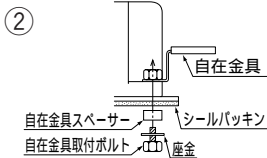
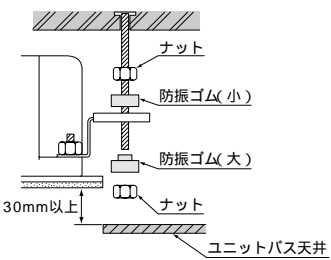
#### 2. 機器本体の後付け方式

[ 単位 : mm ]



換気ダクトは点検口の開口部を避けて配管してください。

## ■機器本体、先付式の場合（ユニットバスを後から設置する場合）

設 置 手 順	説 明 図
<p><b>1. ユニットバス天井面の穴あけ</b></p> <p>① 取り付け用穴が浴槽の中心になるように285mm×410mmの穴をあけてください。また、取り付け用穴の中心と、点検口の端との距離が600±50mmになるようにしてください。この範囲をはずれると、点検口の開閉や、メンテナンスができなくなります。</p> <p>② 天井裏に石膏ボードなどが裏貼りされている場合、365mm×490mmの大きさに裏貼材を切り欠いてください。間口後の天井面の端面には、市販の錆止めを塗布してください。</p>	<p>①</p>  <p>②</p>  <p>取り付け用穴が標準位置より著しくずれる場合、暖房、乾燥性能が低下します。</p>
<p><b>2. ホールアンカーの埋設</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホールアンカーを浴室の上階スラブ面に右図寸法で埋設してください。</li> </ul> <p>ユニットバスの設置位置をよく確認して位置を決めてください。</p> <p>ホールアンカーの埋設位置に鉄筋がある場合は、右図に示す範囲の適当な位置にずらしてください。</p> <p><b>⚠ 注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必ず本体重量(約12kg)に耐えられるアンカー強度にする。機器の落下や浴室破損のおそれがあります。</li> </ul>	<p>[単位：mm]</p>  <p>ホールアンカーは現場調達部品です。</p>
<p><b>3. 吊りボルトの取り付け</b></p> <p>① 吊りボルト(4本)をホールアンカーにねじ込んだ状態で、ユニットバス天井上面から70±5mmとなるように切断してください。</p> <p>② 吊りボルトを十分にねじ込み、確実に固定してください。吊りボルトは天井面に対し垂直になるように取り付け、途中で曲げないでください。(本体が傾く原因になります。)</p> <p>吊りボルトはM仕様を使用してください。</p>	 <p>吊りボルトは現場調達部品です。</p>
<p><b>4. 機器の吊り下げ(仮吊り)</b></p> <p>① 機器本体のユニットバス天井と接するフランジ面にシールパッキン(付属品4本)をフランジ外周に沿って貼り付けてください。</p> <p>② 付属品の自在金具スペーサーと座金を自在金具取付ボルトに通し、機器に取り付けてください。このとき吹出口ノズル板が本体に奥までしっかりと収まっていることを確認してください。またグリル板を取り付けるまで吹出口ノズル板表面の保護シートははずさないでください。</p> <p>③ 既に取り付けられた4本の吊りボルトに右図の要領で自在金具を取り付けてください。ユニットバスの設置のじゃまにならないように、機器本体の下面は、ユニットバス天井面より30mm以上、上になるように吊り上げておいてください。機器の換気ファンボックスがユニットバスの点検口側に向くように取り付けてください。防振ゴム(大)の上下を間違わないようにしてください。</p> <p><b>⚠ 注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>吹出口ノズル板表面の保護シートはグリル板の取り付けの際まで絶対にはずさないでください。</li> </ul>	<p>①</p>  <p>②</p>  <p>③</p>  <p>防振ゴム(大)、防振ゴム(小)には座金が入内蔵されていますので、座金の取り付けは不要です。</p> <p>ナットは現場調達部品です。</p>

5. ファンボックスの本体取り付け

UB天井面と上階スラブまでの寸法が350mm以上確保できない場合、ユニットバスの設置と機器本体の位置調整後、点検口からファンボックスを取り付けてください。

換気ダクト接続口方向、吸気口の位置は変更することが可能です。

換気ダクト接続口(黒)の方向「左」(出荷時)「右」変更方法

- a) ファンボックスふたのネジ2本とボックス取付金具2箇所(左・右)のネジをはずしてください。
  - b) ファンボックスふたとボックス取付金具を反対側に取付けてください。ボックス取付金具は、点検口から見て「左」「右」の刻印が見えるように取り付けてください。
- 左右の変更時、モーターを取りはずす必要はありません。

吸気口(灰色)の位置の変更方法

FD2811J3・FD2811J3W・FD2811J3(UR)は6パターン、FD2811J2・FD2011J2は4パターンのダクト接続ができます。

- a) 変更したい吸気口の取付ネジ2本をはずし、吸気口をはずしてください。
- b) 吸気口を取り付けたい場所の閉塞フタのネジ2本をはずし、閉塞フタをはずしてください。
- c) 閉塞フタを取りはずした場所に吸気口を取り付け、ネジ2本でしっかり固定してください。この時、上部ツメがしっかりはまっていることを確認してください。
- d) もともと吸気口のあった場所に閉塞フタを取り付けてください。

⚠ 注意

- FD2811J2およびFD2011J2の場合、右図のとおり、換気ダクトと吸気口が同一線上となる位置に変更することはできません。取りはずし禁止のラベルが貼ってある閉塞フタは取りはずさないでください。(ラベル: 取りはずし禁止) 換気風量が設定より多くなり、騒音値が高くなります。

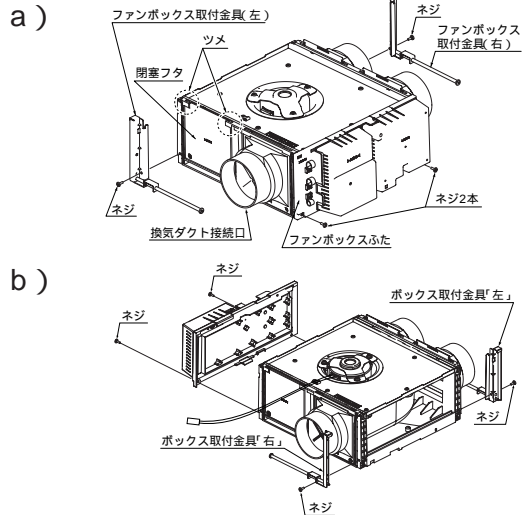
⚠ 注意

- 換気ダクト接続口(黒)の位置を変更することはできません。

- ① 点検口側からファンボックスを天井裏に上げてください。
- ② 機器本体の中間板上部にボックス取付金具の上部を確実にひっかけてください。
- ③ 取付後、ファンボックス取付ネジ2本を締めつけてください。

以下ファンボックスは、吸気口の数などで機種によって外観がことなる場合がありますが、同様の方法で作業してください。

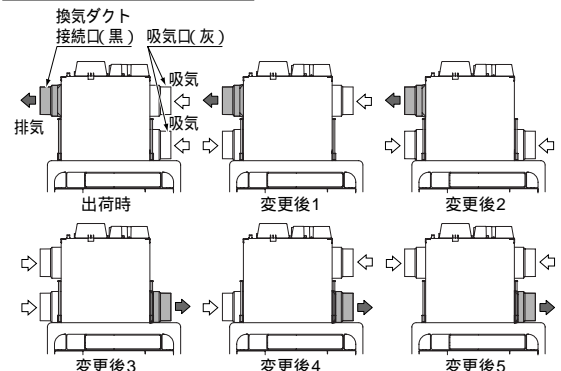
● 換気ダクト接続口方向の変更方法



● 吸気口の位置変更(例)

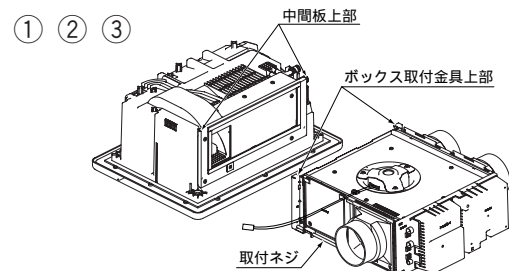
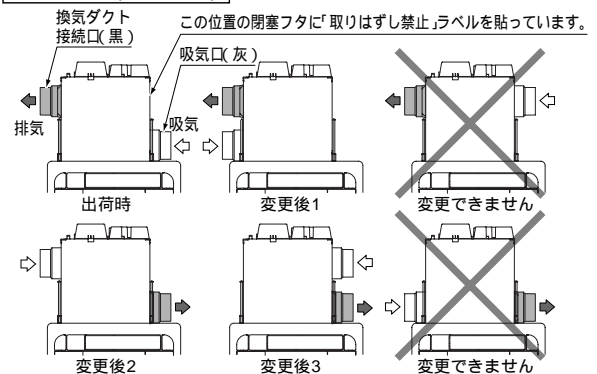
FD2811J3 (3室タイプ)  
FD2811J3W(3室タイプ)  
FD2811J3(UR) (3室タイプ)

下図のとおり6パターンのダクト接続ができます。(グリル板側から見た図)



FD2811J2 (2室タイプ)  
FD2011J2 (2室タイプ)

下図のとおり4パターンのダクト接続ができます。(グリル板側から見た図)

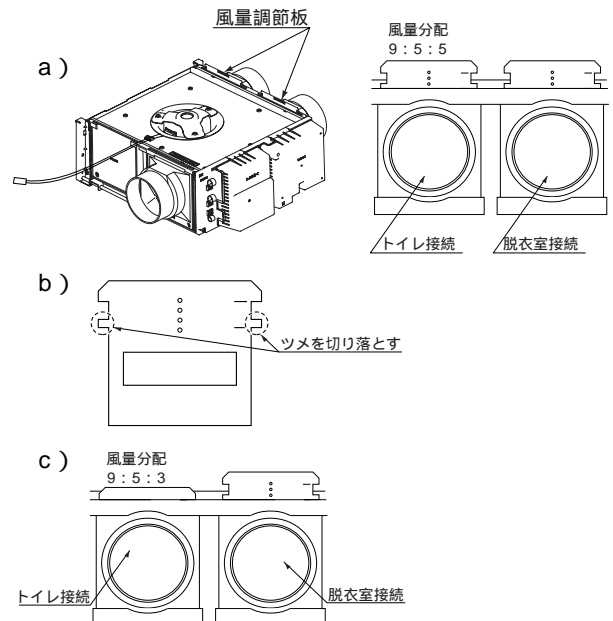


### 6. 換気風量分配調整法

- FD2811J3・FD2811J3W・FD2811J3(UR)  
出荷時の換気風量分配は  
浴室：脱衣室：トイレ=9：5：5  
です。風量変更する場合は、以下の要領で行  
ってください。
- トイレの風量をしばる場合  
a)トイレ側の調整板を取り出す。  
b)調整板のツメ2ヶ所をニッパなどで切り落とす。  
c)調整板をファンボックスに戻す。  
ツメを切り落とした調整板を奥まで差し込む  
と換気風量分配は  
浴室：脱衣室：トイレ=9：5：3  
になります。

**注意**

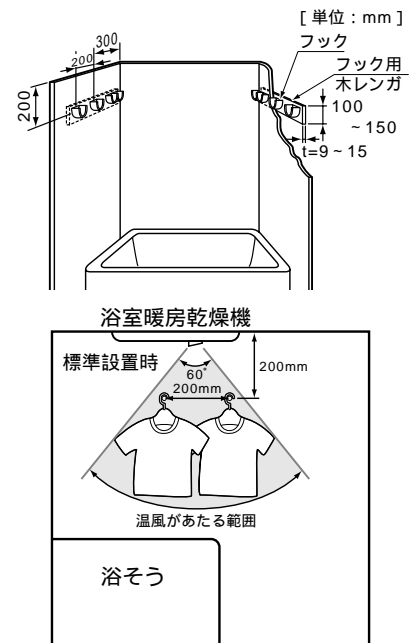
- FD2811J2およびFD2011J2は変更しないでください。



### 7. 物干しバー収納用フックの取り付け

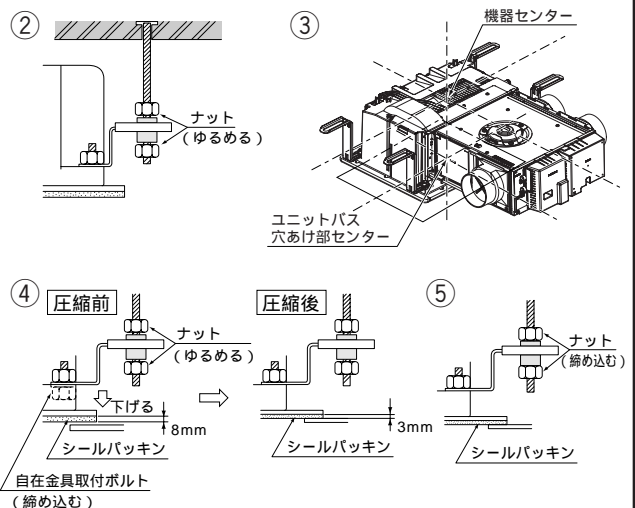
- ①フックの固定位置(右図参照)にフック用木レンガを取り付けてください。
- ②フックを右図のように取り付けてください。  
使用しないときに物干しバーを収納するフックも取り付けてください。  
物干しバーは吊り下げ重量10kgに耐えるものとしてください。  
物干しバーの位置が標準位置より著しくずれる場合、温風が直接あたりにくくなり乾燥性能が低下します。

フック・物干しバーは現場調達部品です。



### 8. ユニットバスの設置と機器本体の位置調整

- ①ユニットバスを組み立て、所定の位置に設置してください。
- ②ユニットバスの外部および点検口より、吊りボルトの自在金具側のナットをゆるめ、機器本体のベース面が水平にユニットバス天井面に接するように調整して下さい。
- ③ユニットバス開口部と機器本体との位置がずれている場合は、機器側の自在金具取付ボルトをゆるめて調整し、ユニットバス開口部と機器本体とのセンターを合わせてください。
- ④センター合わせが完了したら、機器側の自在金具取付ボルトを締め込み、吊りボルト側のナットを少しゆるめて、本体と天井の間にすき間がないように(シールパッキンの厚みが3mmになるよう5mm程度圧縮するまで)機器本体を下げてください。
- ⑤吊り高さの調整が完了したら、吊りボルトの自在金具側のナットを上下からしっかり締め付け、自在金具を確実に固定してください。

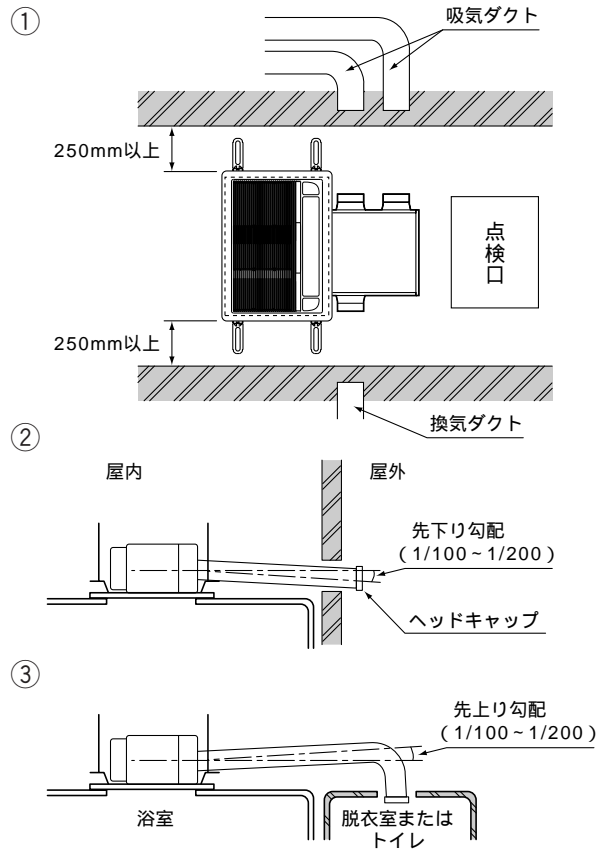


9. 換気ダクト・吸気ダクトの設置

- ①ダクト配管を行う場合、換気ダクトおよび脱衣室・トイレの吸気ダクトは、機器本体から250mm以上離し、逃げ配管を行ってください。  
 ( 機器から250mm以内に塩ビ管(VP・VU)があると機器の取り付けや位置調整に支障をきたす場合があります。 )
- ②換気ダクトは機器本体を正規の位置に設置したときに、先下り勾配となるように位置を決めてください。  
 ( 結露水や雨水が機器本体に逆流するのを防止するためです。 )
- ③吸気ダクトは、先上り勾配(本体側の方を低く)としてください。(約1/100勾配)  
 吸気ダクト、換気ダクトは点検口位置の上を通さないでください。  
 (点検作業に支障をきたします。)

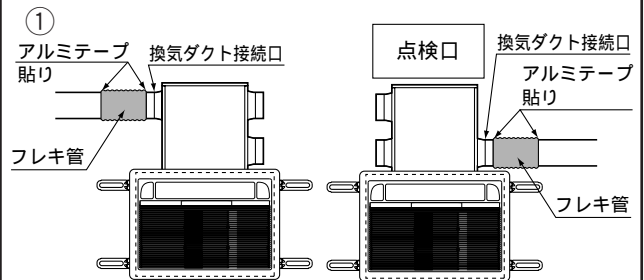
⚠ 注意

- 換気ダクトが長くなると騒音が大きくなると共に換気の風量が低下する場合があります。  
 なるべく換気ダクトが短くなる換気設計をしてください。



10. 換気ダクト接続口と換気ダクトの接続

- ①換気ダクトと機器の換気口の接続部には、フレキ管を取り付けてください。
- ②接続部にはアルミテープなどを全周に巻き、排気漏れがないようしっかり固定してください。

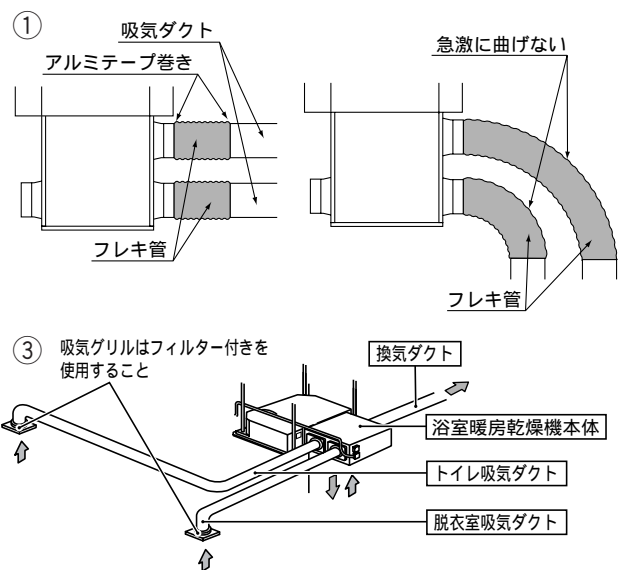


11. 吸気ダクトの取り付け

- ①脱衣室・トイレの吸気ダクトの本体との接続部は、フレキ管を取り付けてください。
- ②接続部には、アルミテープなどを全周に巻き、漏れがないように、しっかり固定してください。
- ③吸気グリルは、必ずフィルター付きのものを使用してください。また、換気風量が調整できる風量調節機能付きを推奨します。

例、三菱電機製 P - 13GLF5  
 松下電器製 FY - GLV04

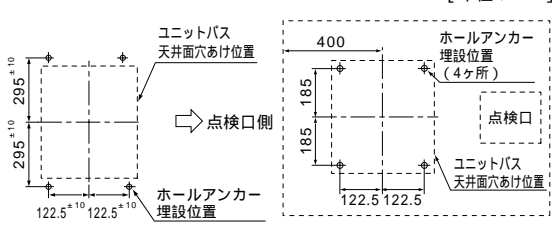
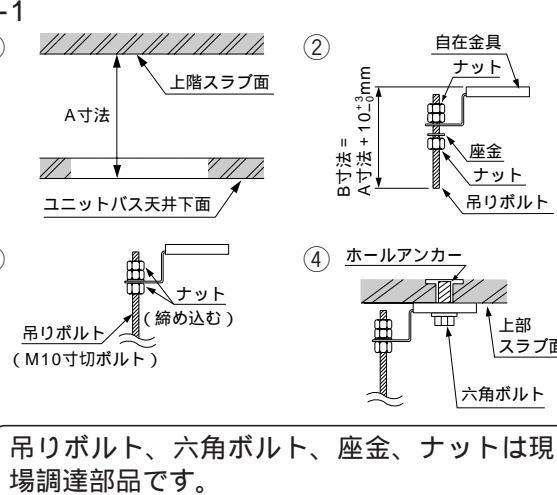
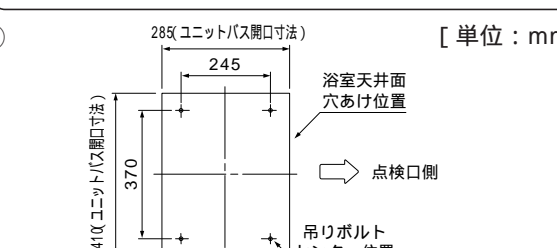
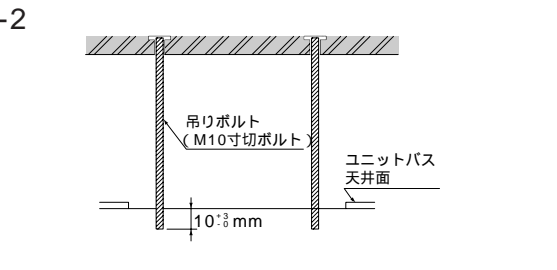
フィルター付の吸気グリルを使用しない場合、ほこりつまりにより換気性能の低下と、モーター部へのほこり侵入による、振動発生の原因になります。吸気グリルの取付方法は、グリル取付説明書に従ってください。  
 脱衣室・トイレの吸気グリルは天井のなるべく中央部に取り付けてください。



吸気グリルは現場調達部品です。

機器設置後、断熱材などを吹きつける場合は、機器の養生を行ってください。

## ■機器本体、後付け方式の場合（ユニットバスが既に設置されている場合）

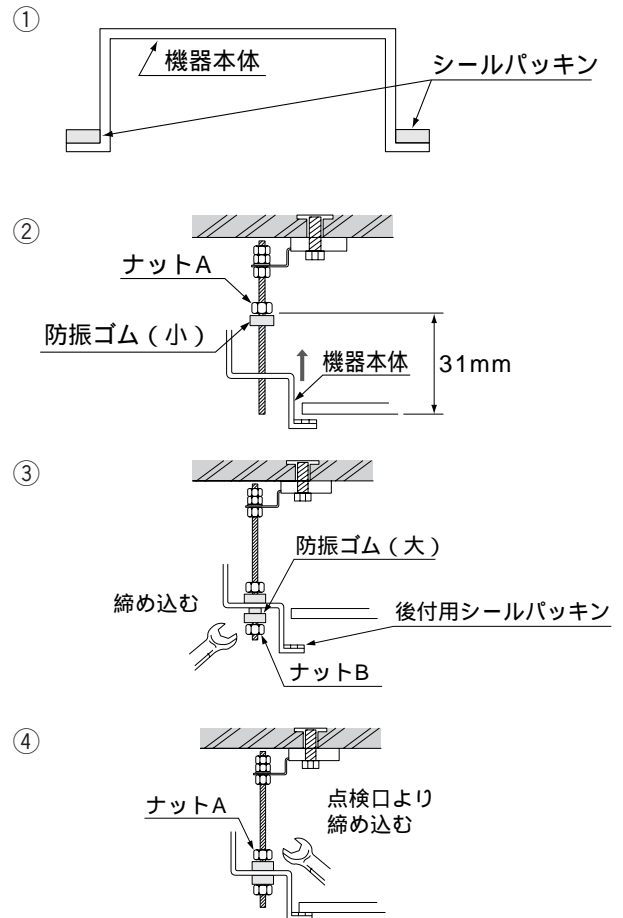
設 置 手 順	説 明 図
<p>1. ユニットバス天井面の穴あけ</p> <p>ユニットバス天井面の穴あけ寸法(285mm×410mm)は機器本体、先付方式と同じです。</p> <p>後付方式の場合は、ユニットバス天井面の裏貼材を切り欠く必要はありません。</p>	<p>4ページの「1. ユニットバス天井面の穴あけ」を参照してください。</p>
<p>2. ホールアンカーの埋設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ホールアンカーを浴室の上階スラブ面に右図寸法で埋設してください。</li> <li>●ホールアンカーの埋設位置に鉄筋がある場合は、右図に示す範囲の適当な位置にずらしてください。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>⚠ 注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●必ず本体重量(約12kg)に耐えられるアンカーを使用する。機器の落下や浴室破損のおそれがあります。</li> </ul> </div>	<p>[単位: mm]</p>  <p>自在金具を使用する場合      自在金具を使用しない場合</p>
<p>3. 吊りボルトの取り付け</p> <p>3-1. 自在金具を使用する場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①吊りボルト(4本)を「A寸法 - 100mm」となるように切断する。</li> <li>②自在金具に固定されているナットに吊りボルトを通し、B寸法が「A寸法 + 10<sup>+3</sup> mm」となるように座金と上下のナットで吊りボルトを自在金具に取り付ける。</li> <li>③上下のナットを締め込み、吊りボルトに自在金具を固定する。</li> <li>④自在金具の長穴に六角ボルトを通し、ホールアンカーに自在金具と吊りボルトを仮止めする。</li> <li>⑤吊りボルトのセンターが、右図の位置になるように自在金具を動かしながら調整し、六角ボルトを増締めし、固定する。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●吊りボルトおよびナットはM仕様とW仕様がありますので注意してください。</li> </ul> </div>	<p>3-1</p>  <p>吊りボルト、六角ボルト、座金、ナットは現場調達部品です。</p> <p>⑤</p>  <p>[単位: mm]</p>
<p>3-2. 自在金具を使用しない場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①吊りボルト(4本)をホールアンカーにねじ込んだ状態で、ユニットバス天井下面から10<sup>+3</sup>mmとなるように切断してください。</li> <li>②吊りボルトを十分にねじ込み、確実に固定してください。</li> </ol> <p>吊りボルトは天井面に対し垂直になるように取り付け、途中で曲げないでください。 (本体が傾く原因になります。)</p>	<p>3-2</p> 

4. 機器本体の吊り下げ

- ① 機器本体フランジ面の後付位置（浴室天井と接する面）にシールパッキンをフランジ外周に沿って貼り付けてください。
- ② 4本の吊りボルトにナットA・防振ゴム（小）を挿入し、ナットAの下面がユニットバス天井下面から31mmとなるように調整して、吊りボルトに機器本体を差し込んでください。
- ③ 浴室側から吊りボルトに防振ゴム（大）・ナットBを挿入し、本体と天井の間にすき間がないように（シールパッキンの厚みが3mmになるよう5mm程度圧縮するまで）ナットB（4ヶ所）を締め込んでください。
- ④ 浴室の点検口からナットA（4ヶ所）を締め込み、機器を固定してください。

防振ゴム（大）、防振ゴム（小）には座金が入蔵されていますので、座金の取り付けは不要です。  
機器本体内側のナットBはステンレス製または防錆処理を施したものを使用してください。

機器の換気ファンボックスがユニットバスの点検口側に向くように取り付けてください。



ナットA・ナットBは現場調達部品です。

5. ファンボックスの本体取り付け
6. 換気風量分配調整法
7. 物干しバー収納用フックの取り付け
8. 換気ダクト・吸気ダクトの設置
9. 換気ダクト接続口と換気ダクトの接続
10. 吸気ダクトの取り付け

以上は機器本体を先付け設置する場合と同じです。

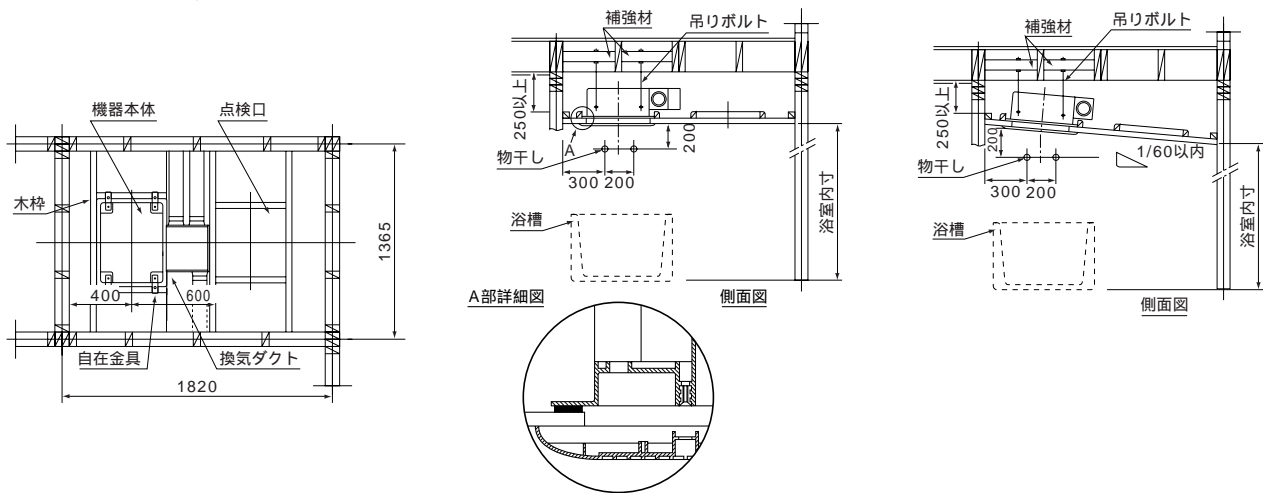
5・6・7ページを参照してください。

## 2. 在来浴室への設置

### ■設置図

#### 1. 在来浴室、機器本体の先付け方式

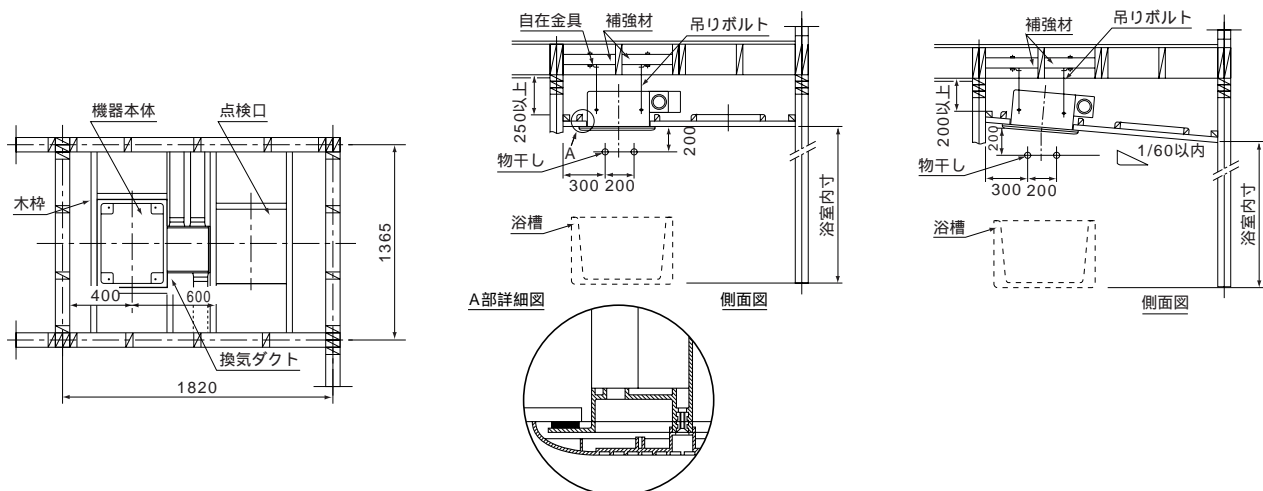
[ 単位 : mm ]



換気ダクトは点検口の開口部を避けて配管してください。

#### 2. 在来浴室、機器本体の後付け方式

[ 単位 : mm ]



換気ダクトは点検口の開口部を避けて配管してください。

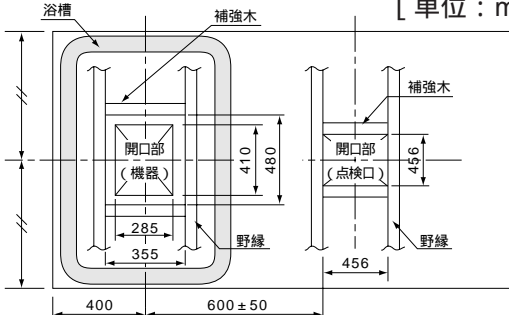
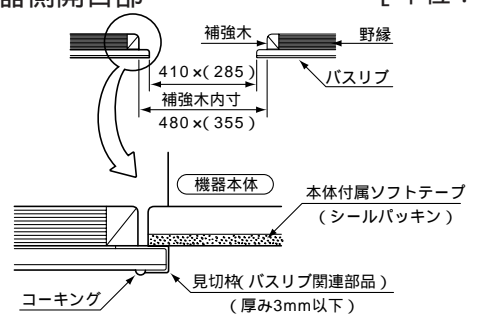
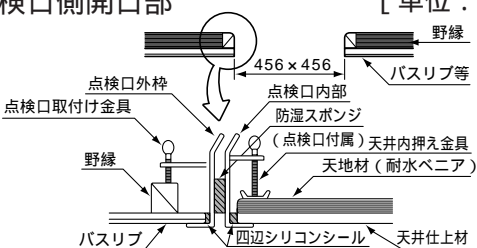
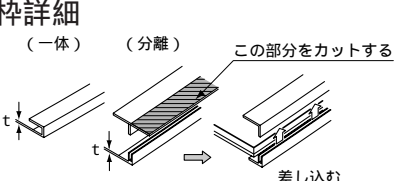
## ■設置場所の確認

### 確認事項

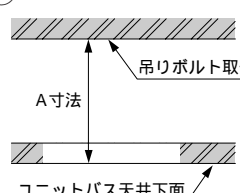
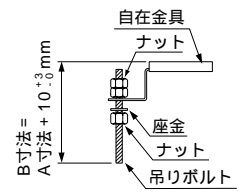
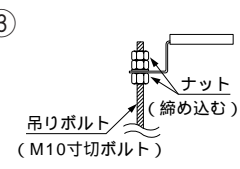
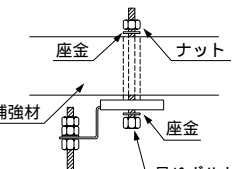
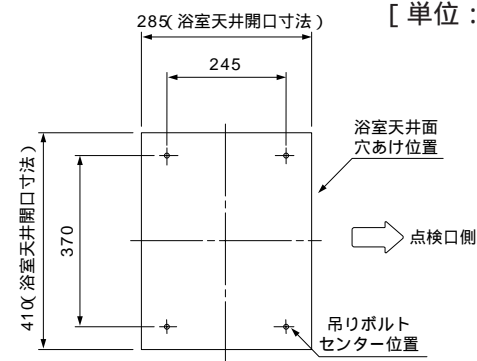
浴室内の天井仕上材は、機器取付面がフラットで、フラット面にグリル板が設置できるタイプを選んでください。  
浴室天井材は乾式天井材を使用してください。  
機器および点検口の気密性確保のため、凹凸の小さい天井材を使用してください。  
機器の傾きは、最大角度1/60以内としてください。  
傾き方向は、浴槽側から洗い場側への傾きまたはこの逆としてください。  
1/60以上になりますと結露水がファンボックスに留る原因になります。  
浴室天井裏の野縁上有効寸法は、250mm以上を確保してください。  
天井が傾斜している場合は、傾斜上流側で上記野縁上有効寸法を確保してください。  
浴室洗い場側上部に点検口(防湿型)を取り付けてください。  
浴室天井の厚みは25mmまでとしてください。また先付け設置時、天井厚みが15mm以上の場合、70mmのグリル取付ネジ(現場調達)を使用してください。  
浴室の天井高さは2200mm以下としてください。  
天井上面の中央部などに補強用リブがあるユニットバスを使用する場合、設置の障害にならないことを確認してください。(本体先付け時：リブ高さ60mm以下、本体後付け時：リブ高さ+天井厚みが60mm以下)  
浴室のドアは給気口が設けてあるものを選んでください。(給気口がないと換気できません。)  
浴室に窓を設ける場合は1㎡以下としてください。  
自然給気口(24時間換気用)または給気ファンは、24時間換気をバランスよく行うために外気に面している各部屋に設けてください。  
住宅全体の通風を確保するために、トイレ・各部屋の扉には100~150cm<sup>3</sup>以上のアンダーカットを確保してください。  
天脱衣室や廊下などの換気が集中する場所の扉には、150~200cm<sup>3</sup>以上のアンダーカットを確保してください。

## ■機器本体、先付け方式の場合

設 置 手 順	説 明 図
<p>1. 本体吊り下げ用補強部材の取り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●バスタブ長手方向の浴槽中心と機器本体の中心を合わせるように吊り下げ用補強部材を取り付けてください。</li> </ul> <p>補強部材は、木材の場合45mm×60mm以上の木材としてください。</p> <div data-bbox="172 1377 300 1422" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>⚠ 注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●補強部材は、機器本体の重量に耐える材料とし、動かないようにしっかり固定する。 機器の落下や浴室破損のおそれがあります。</li> </ul> </div>	<p style="text-align: right;">[ 単位 : mm ]</p>
<p>2. 吊りボルトの取り付け</p> <p>①吊りボルトを補強部材に取り付けた状態で、浴室天井上面から70<sup>+5</sup>mm上になるように切断してください。</p> <p>②補強部材に吊りボルトを通すための穴をあけ、吊りボルトを補強部材に固定してください。 吊りボルトの固定位置は右図を参照してください。 吊りボルトは補強部材の上・下両方から座金を介し、ナットでしっかり固定してください。</p>	<p style="text-align: right;">[ 単位 : mm ]</p>

設 置 手 順	説 明 図
<p>3. 機器の吊り下げ（仮吊り）            機器の吊り下げ方法は「ユニットバスへの設置」と同じです。            吊り下げ寸法は、浴室天井面下面より50mm程度上になるようにしてください。</p>	<p>4ページの「4. 機器の吊り下げ」を参照してください。</p>
<p>4. ファンボックスの本体取り付け</p>	<p>5ページの「5. ファンボックスの本体取り付け」を参照してください。</p>
<p>5. 換気風量調節法</p>	<p>6ページの「6. 換気風量分配調節法」を参照してください。</p>
<p>6. 天井下地の加工</p> <p>①右図の位置に天井の開口部（機器側・点検口側）がくるように野縁を加工してください。</p> <p>②開口部（機器側・点検口側）に補強木を取り付けてください。            機器側の補強木は36mm×36mm以下としてください。</p> <p>③天井仕上げ材（バスリブなど）は機器側で285mm×410mmの開口となるように、また点検口側で456mm×456mmの開口となるように貼ってください。</p>	<p>[ 単位：mm ]</p>  <p>大工さんとの打合わせを十分に行ってください。</p>
<p>7. 見切り枠の取り付けとコーキング</p> <p>①バスリブなどの端面は、見切り枠（厚み3mm以下）を取り付けてください。</p> <p>②機器側開口部の端面に見切り枠（厚み3mm以下）を取り付けてください。</p> <p>③点検口側は、右図のように防湿型点検口を取り付けてください。</p> <p>バスリブなどの天井仕上げ材と見切り枠との接触面および、点検口と天井仕上げ材との接触面にコーキングを施してください。</p>	<p>②機器側開口部 [ 単位：mm ]</p>  <p>③点検口側開口部 [ 単位：mm ]</p>  <p>見切り枠詳細</p> <p>(一体) (分離) この部分をカットする</p>  <p>t：厚み3mm以下</p>
<p>8. 物干しバー収納用フックの取り付け            9. 機器本体の位置調整            以上は、ユニットバスへの設置と同じです。</p>	<p>6ページの「7. 物干しバー収納用フックの取り付け」            「8. ユニットバスの設置と機器本体の位置調整」を参照してください。</p>
<p>10. 換気ダクト・吸気ダクトの設置            11. 換気ダクト接続口と換気ダクトの接続            12. 吸気ダクトの取り付け            以上は、ユニットバスへの設置と同じです。</p>	<p>7ページの「9. 換気ダクト・吸気ダクトの設置」            「10. 換気ダクト接続口と換気ダクトの接続」            「11. 吸気ダクトの取り付け」を参照してください。</p>

## ■機器本体、後付け方式の場合

設 置 手 順	説 明 図
<p>1. 天井面の穴あけと天井下地の加工</p> <p>天井面の穴あけ寸法はユニットバスの場合と同じです。天井下地の加工は、在来浴室の機器本体、先付方式の場合と同じです。</p>	<p>天井面の穴あけ寸法は4ページの「1. ユニットバス天井面の穴あけ」を参照してください。天井下地の加工方法は12ページの「6. 天井下地の加工」を参照してください。</p>
<p>2. 本体吊り下げ用補強部材の取り付けと見切り枠の取り付け、コーキング</p>	<p>11ページの「1. 本体吊り下げ用補強部材の取り付け」および12ページの「7. 見切り枠の取り付けとコーキング」を参照してください。</p>
<p>3. 吊りボルトの取り付け</p> <p>①吊りボルト(4本)を「A寸法 - 100mm」となるように切断する。 吊りボルトはステンレス製を使用してください。</p> <p>②自在金具に固定されているナットに吊りボルトを通し、B寸法が「A寸法 + 10<sup>+3</sup>mm」となるように座金と上下のナットで吊りボルトを自在金具に取り付ける。</p> <p>③上下のナットを締め込み、吊りボルトに自在金具を固定する。</p> <p>④自在金具の長穴に六角ボルトを通し、補強部材に仮止めする。</p> <p>⑤吊りボルトのセンターが、右図の位置になるように自在金具を動かしながら調整し、六角ボルトとナットを増締めし固定する。</p> <div data-bbox="143 1339 817 1429" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>●吊りボルトおよびナットはM仕様とW仕様がありますので注意してください。</p> </div>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>①</p>  <p>吊りボルト取付部材</p> <p>A寸法</p> <p>ユニットバス天井下面</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>②</p>  <p>自在金具</p> <p>ナット</p> <p>座金</p> <p>ナット</p> <p>吊りボルト</p> <p>B寸法 = A寸法 + 10<sup>+3</sup>mm</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>③</p>  <p>ナット (締め込む)</p> <p>吊りボルト (M10寸切ボルト)</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>④</p>  <p>座金</p> <p>ナット</p> <p>補強材</p> <p>座金</p> <p>吊りボルト</p> </div> </div> <div data-bbox="869 1108 1452 1187" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>吊りボルト、六角ボルト、座金、ナットは現場調達部品です。</p> </div> <p>⑤</p>  <p>285(浴室天井開口寸法)</p> <p>245</p> <p>浴室天井面穴あけ位置</p> <p>点検口側</p> <p>吊りボルトセンター位置</p> <p>410(浴室天井開口寸法)</p> <p>370</p> <p>[単位: mm]</p>
<p>4. 機器本体の吊り下げ</p> <p>機器本体の吊り下げ方法はユニットバスへの設置と同じです。</p>	<p>9ページの「4. 機器本体の吊り下げ」を参照してください。</p>
<p>5. ファンボックスの本体取り付け</p> <p>6. 換気風量分配調整法</p> <p>7. 物干しバー収納用フックの取り付け</p> <p>8. 換気ダクト・吸気ダクトの設置</p> <p>9. 換気ダクト接続口と換気ダクトの接続</p> <p>10. 吸気ダクトの取り付け</p> <div data-bbox="143 2049 817 2105" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>以上はユニットバスへの設置と同じです。</p> </div>	<p>5・6・7ページを参照してください。</p>

# 温水配管の接続

設置手順	説明図
<p>1. 温水配管（樹脂配管）の端末処理</p> <p>①ペアチューブ（PTS）の引き込み部分の外装被覆を、200～300mm取り除いてください。</p> <p>②CD管内にゴミや結露水が入らないようにCD管キャップを取り付け、遮熱管を取り付けてください。</p> <p>③クイックファスナージョイント（工事材料）を差し込み、ホースバンドで締め付けてください。</p> <p>クイックファスナージョイントセット（工事材料）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●7A用：FP8023（2ヶ入）、FP8024（20ヶ入）</li> <li>●10A用：FP8025（2ヶ入）、FP8026（20ヶ入）</li> </ul> <p>2. 温水配管と機器本体の接続</p> <p>①温水配管の入口側と出口側を間違えないように、配管接続部に挿入してください。</p> <p>点検口から見て、手前が入口側</p> <p>②配管接続部にクイックファスナーで確実に固定してください。</p> <div data-bbox="172 981 304 1032" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>お願い</p> </div> <p>配管終了後、接続部から水漏れがないことを確認してください。</p>	

# 電気工事と結線

## ■電源工事とアース工事

電気工事は、電気工事店に依頼し、有資格者による工事を行ってください。

機器電源回路には漏電ブレーカーを必ず設けてください。

機器の電源回路はできるだけ専用回線としてください。

機器専用回線の分岐ブレーカーには、できるだけ高感度高速漏電ブレーカー（单相100V30AF、定格15A、感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下）を設けてください。

本機器は浴室内に設置し使用する機器のため、必ずD種接地工事を行ってください。

当機は100V専用です。200V接続はできませんので、事前に確認してください。

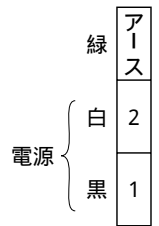
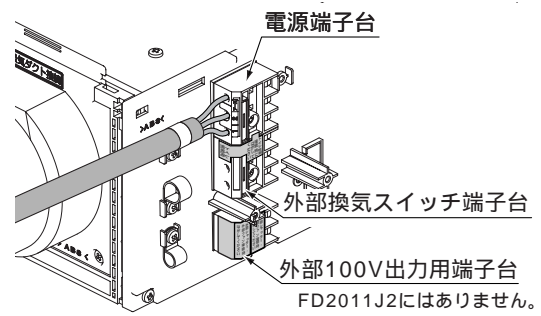
### ⚠ 注意

- 「電気設備に関する技術基準を定める省令」「内線規定」に従い、有資格者がD種接地工事を行う。機器が故障した場合、感電のおそれがあります。
- 電気工事中は、ブレーカーを「切」にし、安全に作業をする。
- ガス配管、給水・給湯配管と電源ケーブルなどの電気配線は接触しないように工事する。
- 専用回線を設けることができない場合、メンテナンスの際にはブレーカー以降の機器の電源が遮断され、使用できなくなります。
- 200V接続をすると、機器が重大なダメージを受け故障しますので、確認の上接続する。

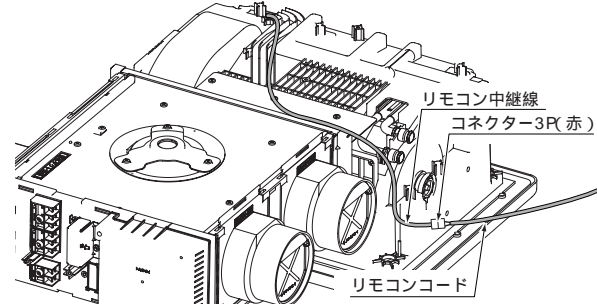

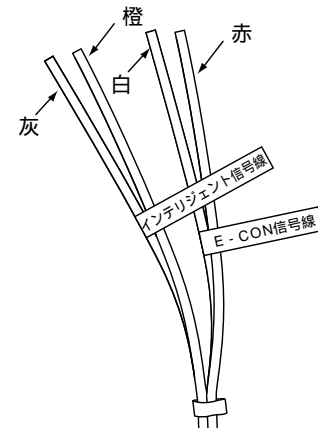


アース必要

## ■電源の接続

設置手順	説明図
<p>1. 電源工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源ケーブルの3芯を「表示」に合わせ機器の上側よりアース(緑)・白・黒の順で接続してください。</li> <li>電源ケーブルは600Vビニール絶縁ビニールシースケーブル(VVF 1.6)3芯を使用してください。</li> <li>電源ケーブルは差し込み式になっています。奥まで確実に入れてください。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>⚠注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>屋内分電盤または、機器本体用回路部に漏電ブレーカーが設置されているか確認してください。</li> <li>接続時に入力電圧(AC100V)を確認してください。</li> <li>端子台のアース表示と電源ケーブルのアース線を必ず確認して接続してください。</li> </ul> <p>火災や感電のおそれがあります。</p> </div>	<div style="text-align: center;"> <p>表示</p>  <p>電源</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>外部100V出力用端子台 FD2011J2にはありません。</p> </div>

## ■リモコンコードと信号線の結線

設置手順	説明図
<p>1. リモコンコードの機器本体への接続</p> <p>リモコンコードを機器本体側より出ているリモコンコード中継線と接続してください。</p>	
<p>2. 温水配管信号線の接続</p> <p>①自動試運転機能付熱源機に接続する場合</p> <p>機器本体より出ている「橙・灰」コードと温水配管から出ている3芯ケーブルの内2芯(赤・白)を端末を処理して接続します。</p> <p>(コードにインテリジェント信号線と記しています。) コードはカプセル端子で「橙 - 赤」、「灰 - 白」と接続してください。</p> <p>②自動試運転機能のない熱源機に接続する場合</p> <p>機器本体より出ている「赤・白」コードと温水配管から出ている3芯ケーブルの内2芯(赤・白)を端末を処理して接続します。</p> <p>(コードにE - CON信号線と記しています。) コードはカプセル端子で「赤 - 赤」、「白 - 白」と接続してください。</p> <p>使用しない線も各々1本ずつ、カプセル端子などで端末を処理して絶縁処理を行ってください。</p>	<div style="text-align: center;"> <p>カプセル端子</p>  <p>赤と赤、白と白(E - CONの場合) 橙と赤、灰と白(インテリジェントの場合)</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>

## ■外部換気スイッチの結線

電気結線は、電気工事店に依頼し、有資格者による結線を行ってください。

外部換気スイッチをトイレスイッチとして使用する場合は、必ずトイレの入口付近に設けてください。

外部換気スイッチは現場調達部品です。

外部換気スイッチの取付方法はそれぞれの工事説明書に従い、結線は下の設置手順に従ってください。

外部換気スイッチは、負荷2Wに適合するものを使用してください。

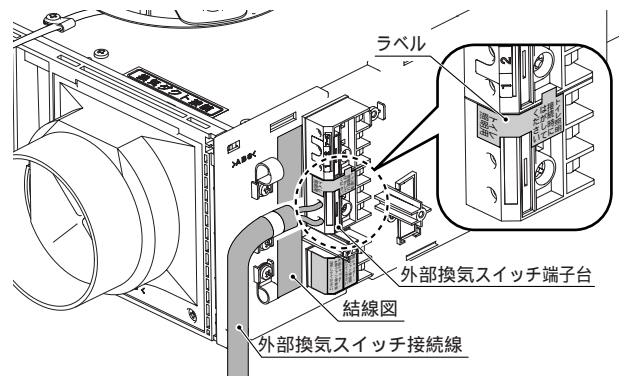
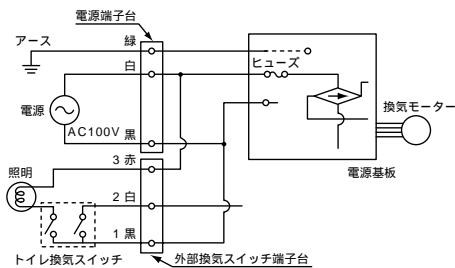
2芯または3芯ケーブルは600Vビニール絶縁ビニールシースケーブル(VVF 1.6)を使用してください。

### ⚠ 注意

- 適合しないスイッチもありますので、下記結線例に記載のスイッチ以外を使用される場合は、販売元までお問い合わせください。

## 回路図

● 外部換気スイッチをトイレ換気スイッチとして使用する場合の例



## 設置手順

### 1. 外部換気スイッチの接続

- 外部換気スイッチは換気ファンを外部換気スイッチにより操作運転を行うものです。

施工例に従って、外部換気スイッチ端子台に接続してください。また、施工例②の際は、外部換気スイッチ端子台に貼り付けのラベルをはがして接続してください。

- ① ほたるスイッチまたはパイロットスイッチを使用する場合。
- ② ひかるスイッチを使用する場合。
- ③ トイレ換気スイッチと洗面所換気スイッチを併設する場合。

端子台は差し込み式になっています。奥まで確実に入れてください。

スイッチによっては正常に動作しないものがありますので、例に示す以外のスイッチを使用される場合、販売元までお問い合わせください。

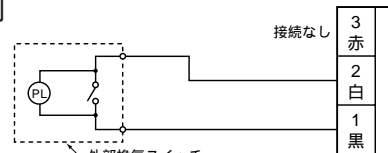
外部換気スイッチは必ず外部換気スイッチ端子台に接続してください。

施工例に示す以外の回路で結線されると機器が故障する場合があります。

## 説明図

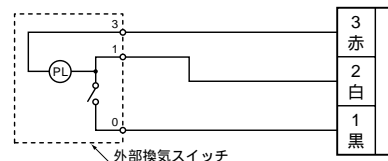
### 施工例

①



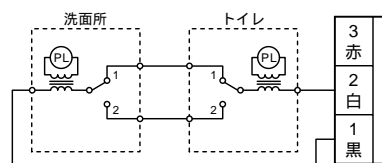
- (例) ほたるスイッチ 松下電工製 WN5051、WT5051  
 パイロットスイッチ 松下電工製 WN52412  
 パイロット・ほたるスイッチ 松下電工製 WT50412

②



- (例) ほたるスイッチ 松下電工製 WN5341K、WT5341

③



- (例) ほたるスイッチ 松下電工製 WN5052、WT5052  
 パイロットスイッチ 松下電工製 WN52422  
 パイロット・ほたるスイッチ 松下電工製 WT50422

## ■外部100V出力の接続(外部シャッター、外部ファン駆動用)

FD2811J3・FD2811J3W・FD2811J3(UR)・FD2811J2のみ搭載しています。

(FD2011J2にはありません。)

電気結線は、電気工事に依頼し、有資格者による結線を行ってください。

外部100V出力に接続される端末は1A以下のものを使用してください。

2芯または3芯ケーブルは600Vビニール絶縁ビニールシースケーブル(VVF 1.6)を使用してください。

### 設置手順

### 説明図

#### 外部100V出力の接続

- 外部100V出力は、換気ファンの運転に連動して、AC100Vを出力しますので、外部シャッターや外部ファンを連動させたいときに、右図のように外部100V出力用端子台に貼り付けのラベルをはがして接続してください。

- FD2811J3・FD2811J3W
- FD2811J2

運転状態		100V出力
24時間換気運転中(全モード)		ON
24時間換気停止中	乾燥	ON
	暖房	OFF
	涼風	ON
	換気	ON
	停止	OFF
外部換気スイッチON時		ON

- FD2811J3(UR)

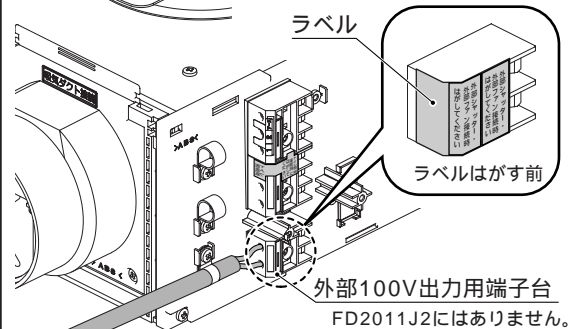
運転状態		100V出力
24時間換気運転中(全モード)		ON
24時間換気停止中		OFF

端子台は差し込み式になっています。

奥まで確実に入れてください。

接続する端末は必ず1A以下のものを使用してください。

1A以上のものを接続すると故障します。



この端子はAC100Vが出力されますので、絶対にトイレスイッチを接続しないでください。

ショートして機器が破損します。

### 設置手順

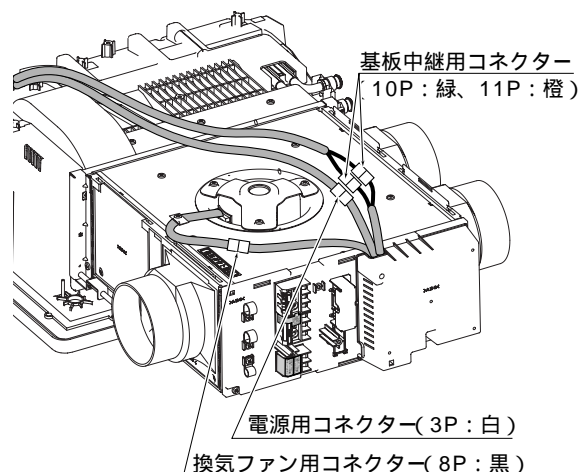
### 説明図

#### 中継コネクターの接続

#### ⚠注意

- 電源中継線や換気ファン接続コードなどを機器固定から解くときや、引き出す際には、カッターなど鋭利なものを使用しない。  
コードなどに傷がつき、思いがけない事故の原因になります。

- 本体から出ている電源用コネクタ(3P:白)、換気ファン用コネクタ(8P:黒)、基板中継用コネクタ2個(10P:緑、11P:橙)を接続してください。




# リモコンの取り付け

取り付け方法は、1. スイッチボックスに取り付ける場合と、2. 直接壁に取り付ける場合との2通りの方法があります。リモコンコードを電線管に通す場合は、コネクター部をビニールテープで保護し、リード線およびコネクターに無理な力が加わらないよう注意してください。(電線管は内径が 20mm以上のものを使用してください。)

## 設置手順

### 1. スイッチボックスに取り付ける場合

- ①小型の○ドライバーなどをリモコン下部の凹部に差し込み、リモコン表カバーをはずしてください。無理にこじあけたりしないでください。リモコンの破損の原因になります。
- ②リモコンコードをリモコン本体のコネクターへ取り付けてください。(コネクター接続ですので、奥までしっかりと差し込んでください。)
- ③リモコンコードをコードクランプで固定してください。このとき、リモコンコードはコネクターより長さ10cmの位置で固定してください。長さが短いとメンテナンスができませんので注意してください。
- ④スイッチボックスに付属のネジで、リモコン本体を取り付けてください。リモコン本体は上下を間違えないように取り付けてください。(リモコン本体に  の表示をしています。)

### お願い

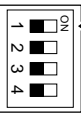
- M4ネジはリモコンが動かない程度に軽くねじ込んでください。締めすぎるとリモコンが変形したり割れたりするおそれがあります。

### ⑤ リモコンの風量設定

- 住宅の相当隙間面積と必要換気量に合わせてディップスイッチを設定してください。

相当隙間面積が、  
2cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>以下の場合にはOFF(左へ)  
2cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>以上の場合にはON(右へ)

相当隙間面積がわからない場合にはOFFとしてください。



必要換気風量に設定

FD2811J3・FD2811J3W・FD2811J3(UR)				
設定風量 (m <sup>3</sup> /h)	80	100	120	145
ディップスイッチ設定	3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/>
	OFF		ON	

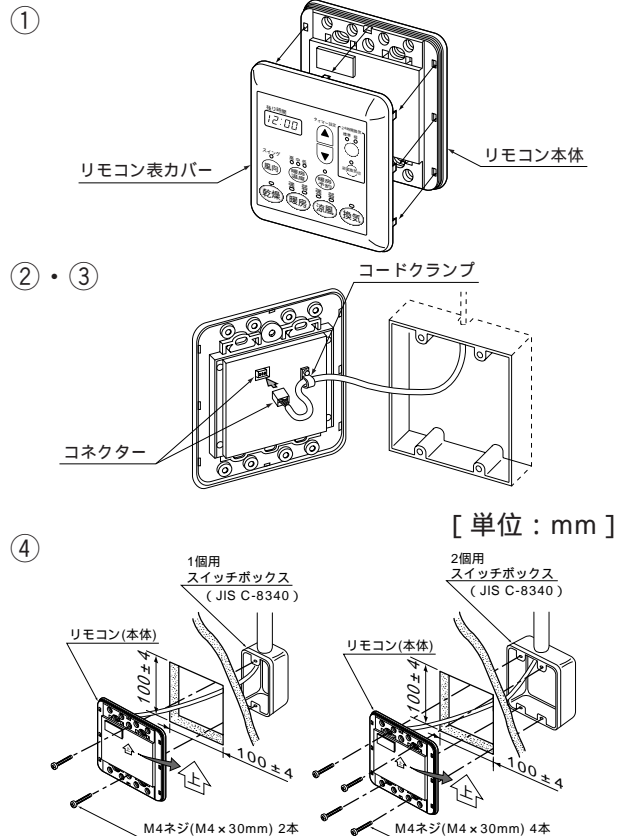
FD2811J2			
設定風量 (m <sup>3</sup> /h)	60	80	100
ディップスイッチ設定	3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/>
	OFF		ON

FD2011J2					
設定風量 (m <sup>3</sup> /h)	30	40	50	60	80
ディップスイッチ設定	2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/>
	OFF		ON		

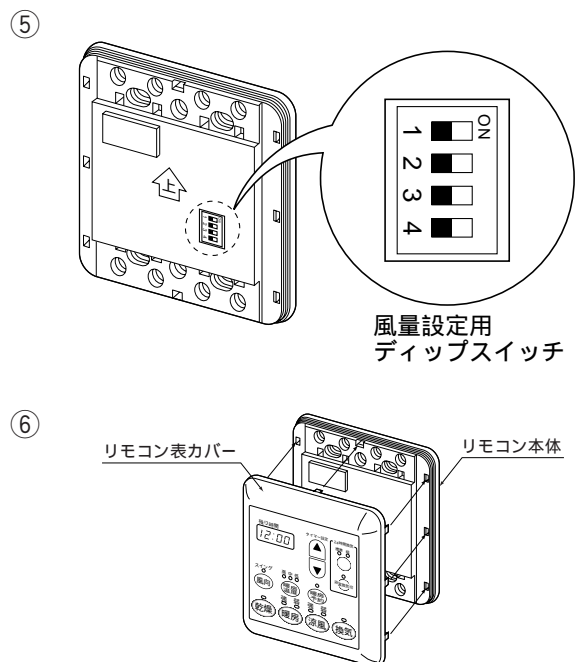
### ⑥ リモコン本体にカバーを取り付けてください。

- 石膏ボード用はさみ金具を使用される場合は、松下電工製 (WN3992Kまたは、WN3993) を使用してください。


## 説明図



電線管は内径が 20mm以上のものを使用してください。(JIS C-8305: G22・C25・E25以上の呼び径)



2. 直接壁に取り付ける場合

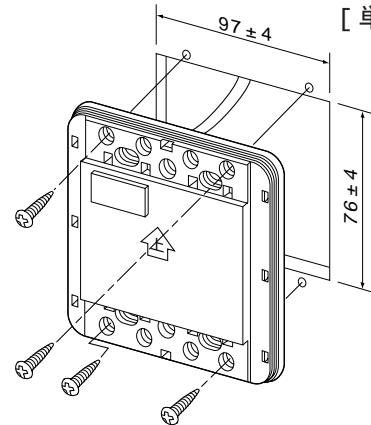
- ①～③の手順は、「1. スイッチを取り付ける場合」と同じです。18ページを参照してください。
- ④リモコン本体を壁に木ネジで取り付けてください。  
 リモコン本体は上下を間違えないように取り付けてください。  
 リモコン本体に  の表示をしています。  
 木ネジは本体左右の上・下2ヶ所にネジ込んでください。  
 壁の開口寸法は $97 \pm 4\text{mm} \times 76 \pm 4\text{mm}$ としてください。  
 壁にあける下穴は必ず垂直にあけてください。リモコンでは傾きの修正はできません。  
 木ネジがきかない壁の場合は、カールプラグを打ち込み木ネジで取り付けてください。

お願い

- 木ネジはリモコンが動かない程度に軽くねじ込んでください。  
締めすぎるとリモコンが変形したり、割れたりするおそれがあります。

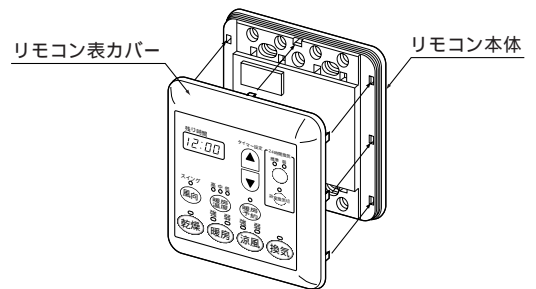
- ⑤リモコン本体にカバーを取り付けてください。

④ [単位：mm]



木ネジは現場調達部品です。

⑤



# グリル板の取り付けとノズル板の固定

設 置 手 順	説 明 図
<p>①浴室内からグリル板を取り付けます。まず機器本体のノズルに付けてある、保護シートをはずしてください。テープをはずしますと、ノズルが下へ降りてきます。</p> <p>②オートルーバーを90°開いた状態にしてください。</p> <p>③機器本体吹出(ルーバー)側にグリル板取付ネジを2本仮止めします。</p> <p>④仮止めしたグリル板取付ネジ2本にグリル板吹出側(穴の大きい方)のネジ下穴を通します。次に2本のネジに、それぞれグリル板抜け止めワッシャーをはめ込み、グリル板を仮固定してください。</p> <p>⑤グリル板取付ネジ(2本)でグリル板の反対側を仮止めし、その後4本を均等に締め付けてください。取付ネジの閉めすぎに注意してください。グリル板のそりの原因になります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>取り付け後、グリル板にすき間やそりがないことを確認してください。</p> <p>浴室天井厚みは25mmまでとしてください。天井板厚み(仕上げ材、下地材)が15mm以上ある場合は、L=70mm(現場調達)のグリル取付ビスを使用してください。</p> </div> <p>⑥グリル板にビス隠しをはめ込んでください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>確 認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グリル板とノズルは、はまり込む形となります。<u>無理に取り付けますと、傷や故障の原因となります。</u></li> <li>●ビス隠しをはずす場合は、工具を使わず手ではずしてください。<u>工具ではずしますと、グリル板が傷つく原因になります。</u></li> </ul> </div>	<p>①</p> <p>保護シート</p> <p>本体</p> <p>③ ④</p> <p>グリル板取付ネジ (仮止め M4×50)</p> <p>点検口側</p> <p>グリル板</p> <p>グリル板抜け止めワッシャー</p> <p>⑤</p> <p>スキマ</p> <p>ソリ</p> <p>⑥</p> <p>ビス隠し</p>

## 試運転

### 1. 自動試運転機能付き熱源機を使用される場合

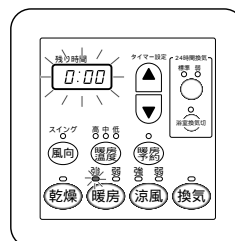
< 手順 >

- ①熱源機の自動試運転手順に従って、試運転を行ってください。
- ②自動試運転中は、浴室暖房乾燥機のリモコンの暖房「強」ランプが点滅し、タイマーが「0:00」と表示します。

自動試運転中は浴室のドア・窓・点検口を閉めてください。

自動試運転の詳しい説明は、熱源機の工事説明書を参照してください。

- ③自動試運転終了後、次ページ2項の③～⑤、⑥-3、⑦～⑪の手順に従って、機器の動作確認を行ってください。



#### 自動試運転の内容

- リモコン線の接続チェック
- 機器と熱源機間の信号線接続チェック
- 電装基板の動作チェック
- 機器の水はりりと完了チェック
- 暖房運転による動作チェック

## 2. 自動試運転機能無しの熱源機を使用される場合、E-CON信号線接続の場合

<手順>

- ①屋内ブレーカーをONにしてください。
- ②熱源機の手動試運転手順に従って、試運転を行ってください。
- ③24時間換気スイッチを押してください。
  1. 24時間換気標準ランプの点灯を確認してください。
  2. 24時間スイッチを繰り返し押し、24時間換気ランプが標準 弱 標準と変わることを確認してください。
- ④浴室換気切スイッチを押してください。
  1. 浴室換気切ランプの点灯を確認してください。
  2. 再度、浴室換気切スイッチを押すと、ランプが消灯することを確認してください。
- ⑤乾燥スイッチを押してください。
  1. 乾燥ランプの点灯を確認してください。
  2. タイマー時間表示(2:00)の点灯を確認してください。
  3. タイマースイッチの「 」を押し、タイマー時間表示の点灯が2:10 2:20 2:30と変わることを確認してください。また、タイマースイッチの「 」を押し、2:10 2:00と変わることを確認してください。
  4. 吹出口が開き、温風が出てくることを手で確認してください。(温風が出るまで数分かかります。)温風が出ない場合、温水配管信号線の結線を点検してください。
  5. 風向スイッチを押し、タイマー表示に風向表示(L6)の点灯を確認してください。
  6. 風向スイッチを押し、風向表示の点灯がL6 L7 L8 LA L1 --- L6と変わることを確認してください。このときLA表示のときは、スイングランプが点灯していることを確認してください。(タイマー表示に風向が表示されてから4秒以上操作がなければ、通常のタイマー表示に戻ります。)
- ⑥暖房スイッチを押してください。
  1. 暖房強ランプの点灯を確認してください。
  2. ⑤と同様に吹出口より温風が出てくることを手で確認してください。
  3. 暖房スイッチをもう一度押して、暖房弱ランプが点灯していることを確認してください。
- ⑦涼風スイッチを押してください。
  1. 涼風ランプの点灯を確認してください。
  2. 吹出口より涼風(加熱されていない風)が出てくることを手で確認してください。(暖房運転終了直後は、涼風が出るまで数分かかります。)
  3. 涼風スイッチをもう一度押して、涼風弱ランプが点灯していることを確認してください。
- ⑧換気スイッチを押してください。
  1. 換気ランプが点灯していることを確認してください。
- ⑨運転を停止してください。
  1. 換気スイッチを押してください。
  2. 24時間換気スイッチを3秒以上押し、ランプの消灯を確認してください。
  3. オートルーバーが閉じていることを確認してください。
  4. すべてのランプの消灯を確認してください。
  5. すべての運転動作が停止したことを確認してください。
- ⑩外部換気スイッチの確認
  1. 外部換気スイッチを「入」にしてください。
  2. 換気ファンが運転することを確認し、外部換気スイッチを「切」にしてください。

FD2811J3(UR)の場合は、24時間換気を運転(2.③~③-1)し、本体の吸気フィルタに手をかざしてみても浴室からは吸気されないことを確認してください。確認後は、24時間換気運転を停止(2.⑨-2)し、外部換気スイッチを「切」にしてください。

3. すべての運転動作が停止したことを確認してください。

⑪試運転終了後は屋内ブレーカーを切ってください。

⑫その他

- 水漏れ、異常音、振動、その他異常のないことを確認してください。運転開始後や停止後、数分間「ピシッ」「ピシッ」という小さな音がすることがありますが異常ではありません。

## 3. インテリジェント信号線接続で、浴室(予備)暖房スイッチ付熱源機を使用される場合

1. または2. の運転動作の確認をしたあとで、以下の確認を行います。

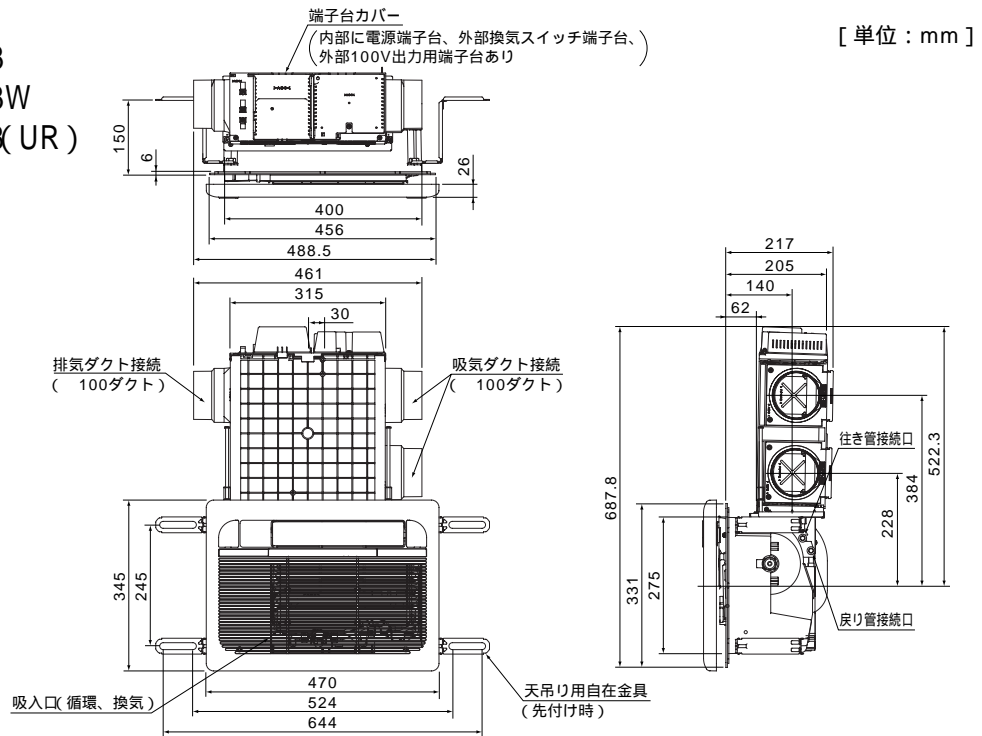
- この機器は熱源機側に連動して、暖房運転の開始や停止をすることができます。熱源機側リモコンの「浴室(予備)暖房」スイッチを押して、浴室暖房乾燥機のリモコンの「暖房強」ランプが点灯し、吹出口より温風が出てくることを確認してください。再度熱源機側リモコンの「浴室(予備)暖房」スイッチを押して、暖房運転が停止するのを確認してください。

FD2811J3(UR)の場合は、浴室暖房乾燥機のリモコンにより24時間換気を運転(2.③~③-1)した状態で確認してください。確認後は、24時間換気運転を停止(2.⑨-2)してください。

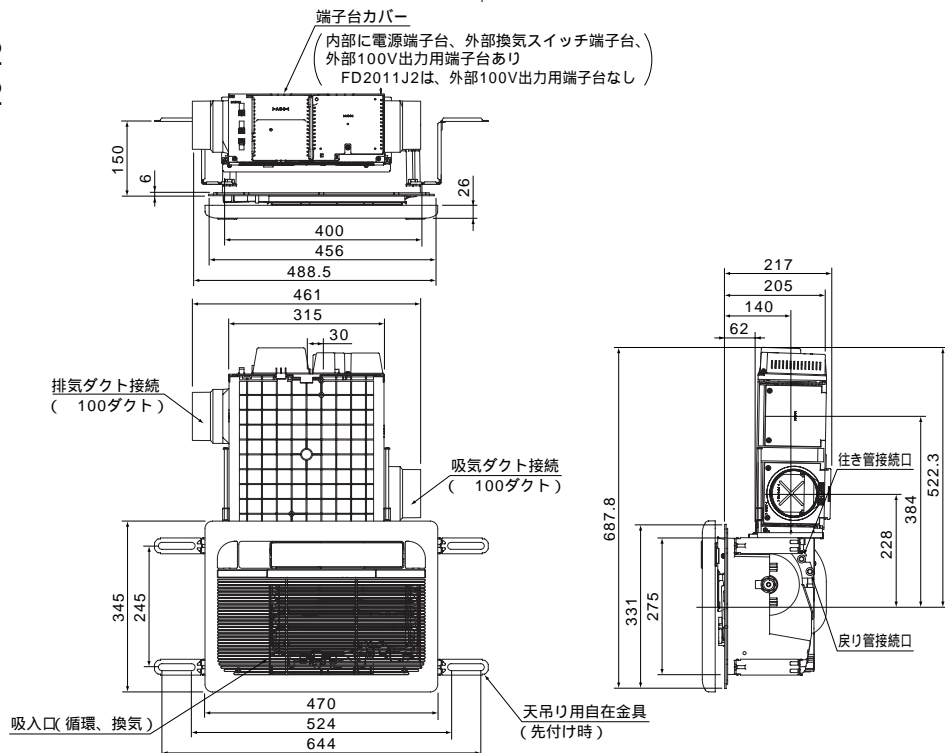
異常および各動作フローは故障診断シート(別添付・換気ファンボックス前面)に記載しております。異常時の処置につきましては、故障診断シートを参照してください。

# 外形寸法図

FD2811J3  
FD2811J3W  
FD2811J3(UR)



FD2811J2  
FD2011J2



リモコン

